

中島の

子育て地蔵

平成十年二月五日号

富士の中島に、富士川のはんらんで流れ着いたと言われる「子育て地蔵」が祭られています。今回は、子どもについてご利益リやくがあるという「子育て地蔵」のお話を紹介します。

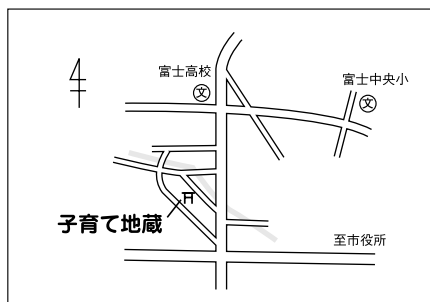
昔、富士の中島にカヤ積み場がありました。昔の家はほとんどカヤぶき屋根だったので、人々は富士山のすそ野からカヤを刈り、一か所に積んでおいたのです。

あるとき富士川がはんらんし、カヤ積み場に八十センチメートルくらいのお地蔵さんが

流れ着きました。

お地蔵さんは長い年月をかけて流れ着いたらしく、汚れていて、首も取れていました。そんなお地蔵さんを見つけた村人は大変かわいそうに思い、取れていた首のかわりに、丸い石を乗せ、社をつくってお地蔵さんを祭りしました。そして、カヤ積み場の周辺をお地蔵さんの地所にして、そこからとれるお米をお地蔵さんへの年貢として、お祭りも行うことにしました。

そんなある日、子どもができて困っている村人がお地蔵さんに「子宝に恵まれますように」とお参りしました。すると、すぐに子



どもが授かりました。また、子どもの体が弱くて困っていた村人が「子どもが丈夫になりますように」とお願いすると、間もなく子どもはすっかり元気になりました。

それからいつの間にかこのお地藏さんは「子育て地藏」と呼ばれるようになったのでした。



▶ お祭りに公開される「子育て地藏」

氏子総代

平良弘さん
岡根谷正夫さん
鈴木 巖さん

私たちが子どものころは縁日のお祭りという感じが強く、浴衣を着てお小遣いをもらってお菓子などを買うのがとても楽しみでした。今ではお地藏さんのお祭りを、中島上区と中島下区が交代で毎年七月二十二日に行っています。露店がたくさん並び、子どもたちが太鼓をたたいたり踊りを踊ったりと、年々にぎやかになりますよ。このお地藏さんはその名も「子育て地藏」なので、いつの時代も子どもに囲まれてにぎやかなのかもしれないね。

それに今でも子どものことでお参りする人をよく見かけます。また、このあたりの家では「子育て地藏」のお札を張っている家も多いんですよ。